

活動主題 「社会の中で理想の姿を追いつづける自分になろう」

活動の価値

「社会の中」とは、学級や学校だけでなく、様々な考え方をもった集団で構成されている空間のことである。また、「理想の姿を追い続ける」とは、周りの雰囲気流されるのではなく自分で決めて行動することである。すなわち、様々な集団で構成される社会の中で、周りの雰囲気流されず、自分や周りに対して、何が最適な行動なのかと自分で考え続け、自分自身に誠実に向き合いながら、行動で現し続けることである。このような行動には、これまで受け継がれてきた日本の伝統や文化を生み出してきた「あたり前の気遣い」の精神があり、このあたり前の気遣いを大切にすることで、周りに流されることなく、自分自身に正直に向き合い、行動で現すことができ、よりよい社会の実現にもつながると考える。3年生は、まもなく中学校を卒業し、新しい社会へと進むことになる。これからの社会の形成者の一人に近づくこの時期に、よりよい社会を創るために、一人ひとりが理想の姿とは何かと問い続けることは、大変価値があると考えられる。

本活動では、社会の中で理想の姿を追いつづける自分でありたいと願い、よりよい社会を実現のため、自己をみつめていく活動である。この活動を通して子どもは、受け継いできた伝統と文化に対する関心を深め、伝統と文化を生み出したあたり前の気遣いの精神を学ぶことができる。また、社会を構成する一員として、よりよい社会の実現に向けて主体的に関わっていこうとする意欲を高めることができる。このことは、自己を見つめ、これからの学校生活や社会と進んで関わろうとする態度をはぐくむことができる。

以上のことから、卒業を控え社会の形成者となるこの時期に理想の姿を追いつづける自分を考えることは、伝統や文化を継承し新たな文化を創造していこうという態度をはぐくむことができるため意義深い。

子どもの実態

本学級の子ども（〇名）に事前アンケートを行ったところ、自慢できる日本の伝統や文化はありますかと問うと、多くの子どもが「ある」と答えた。特に自慢できるものは「歌舞伎、漫画、日本食」といった有形のものが多く、次いで、「礼儀正しや思いやる心」といった無形のを答えた子どもが〇名いた。あなたは日本の伝統や文化を受け継いでいますかと問うと、「受け継いでいるか分からない」と答えた子どもが〇名ともっとも多く、「受け継いでいる」と答えた子どもが〇名であった。分からないと答えた理由としては、「歌舞伎はできないし、漫画もかけないから」という答えがもっとも多く、ついで、「どうやって受け継いでいけばいいかわからない」という答えであった。一方で、受け継いでいると答えた理由として、「挨拶などの礼儀は自分でも日頃から行っているから」という答えがもっとも多かった。日本の伝統や文化を受け継いでいきたいですかと問うと、〇名の子どもが「受け継いでいきたい」と答えた。

以上のことから、本学級の子どもたちは日本の伝統や文化を自慢できると考えおり、この伝統と文化を引き継いでいきたいと考えていることがわかった。しかし、日本の伝統や文化には有形のものしかないと考えている。また、日本の伝統や文化を受け継いでいきたいと考えているがどのように受け継いでいったらよいか理解していないことがわかった。したがって、受け継いできた伝統や文化に対する関心を深め社会を構成する一員としてよりよい社会の実現に向けて主体的に関わっていこうとする意欲を高めて行く必要がある。

活動の指導観

そこで本活動は、これまで受け継いできた伝統や文化に対する関心を深め、社会を構成する一員として、よりよい社会の実現に向けて主体的に関わっていこうとする意欲を高め、これからの学校生活や人生にいかすことができるようにすることをねらいとする。そのために、次のような援助を行う。

- ・これまで受け継いできた伝統と文化に対する関心を深めることができるように、間接資料「ワンス・アポン・ア・タイム・イン・ジャパン」を活用する。
- ・あたり前の気遣いが行動で現れていないところもあることに気づくことができるように、日常生活の中で守られているところを考える活動を設定する。
- ・法やきまりの意義を考えることができるように、間接資料「二通の手紙」を活用する。
- ・よりよい学校にするために、一人ひとりが主体的に課題を見出すことができるように、考え、話し合う場を設定する。
- ・学校を構成する一人として、気遣いが行動で現すことができるように、試行実践を実施し、振り返る場を設定する。
- ・自ら考え、判断して、実行することが、自らの責任によって行動する生き方を送ることにつながることを理解することができるように、間接資料「父の一言」を活用する。

○ 子どもの学習目標
社会を構成する一員として自覚をもち、理想の姿を追い続けることができる。

○ 教師の指導目標
これまで受け継いできた伝統や文化に対する関心を深め、社会を構成する一員として、よりよい社会の実現に向けて主体的に関わっていこうとする意欲を高め、これからの学校生活や人生にいかすことができるようにする。

活動計画（5時間）

次	時	学習活動・内容	子どもの問いと思考	指導のねらい・内容・方法
本時 1 / 1	1 ①	1 日本が受け継いできた伝統と文化について考える。 (1) 間接資料「ワンス・アポン・ア・タイム・イン・ジャパン」を通して、伝統や文化のよさについて考える。 道C-17 ・時代が変わってもあたり前の気遣いを大切にしていける社会を創っていききたいな (2) 学習課題を設定する。 社会の中で理想の姿を追い続ける自分になろう。	昔の日本の伝統や文化ってどのような素晴らしさがあったのかな。 あたり前の気遣いって素晴らしいな。このような社会を大切にしていきたいな。	これまで受け継いできた伝統と文化に対する関心を深めることができるようにする。 ・これまでの自分の行動を振り返りながら、日本の伝統と文化を見つめなおすことができるように、間接資料「ワンス・アポン・ア・タイム・イン・ジャパン」を活用する。 ・活動の見通しをもつことができるように、学習課題を設定する。
	1 ②	2 これまでの生活を振り返る。 (1) 日常生活の中で、あたり前の気遣いが行動で現れているところはどのようなところか考える。 学(3)-イ ・落とし物が届けられる。 ・順番が守られている ・守られていないこともある (2) 間接資料「二通の手紙」を通して、法やきまりの意義について考える。 道C-12 ・法やルールは規律ある安定な社会を創るために必要 ・自分や周りを守るもの 3 よりよい学校にするためにできることを考える。 (1) よりよい学校にするためにどのようなあたり前の気遣いを行動で示していくのかを考え、話し合う 学(1)-ア ・学校、学年、学級、個人の視点 (2) よりよい学校にする活動 - 試行実践 -	今の社会の中であたり前の気遣いが行動で現れているところはどんなところかな。 気遣いが行動には法やきまりで対応する必要がありそうだな。 法やきまりが大切にしていることって何だろう。 法やきまりは罰を与えるためではなく、安心安全に生活していくために必要なんだな。 今の学校はよりよい学校になっているのかな。 特別なことでなく、周りを大切にするあたり前の気遣いを行動で示していくことが、よりよい学校へとつながるんだな。	社会の構成する一員として、よりよい社会の実現に向けて主体的に関わっていこうとする意欲を高めることができるようにする。 ・あたり前の気遣いが行動で現れていないところもあることに気づくことができるように、日常生活の中で守られているところを考える活動を設定する。 ・法やきまりの意義を考えることができるように、考え、話し合う場を設定する。 ・よりよい学校にするために、一人ひとりが主体的に課題を見出すことができるように、考え、話し合う場を設定する。 ・学校を構成する一人として、気遣いが行動で現すことができるように、試行実践を実施し、振り返る場を設定する。
三	1 ①	4 自律的に行動する価値について考える。 (1) 間接資料「父の一言」を通して、自律的に考え、行動で示すことの意義を考える。 道A-1 ・自分で決めたことを最後まで全うすることが、責任をもった行動や生き方につながる	どうすれば続けることができるのかな。 自分で決めたことに責任をもてるような生き方をしていきたい。	これからの学校生活や人生にいかすことができるようにする。 ・自ら考え、判断して、実行することが、自らの責任によって行動する生き方につながることを理解することができるように、間接資料「父の一言」を活用する。

本時 第一次の1時（1／1）

本時のねらい

我が国の優れた無形の伝統や文化にはあたり前の気遣いの精神があることに気づき、受け継がれた精神を大切にしたい人々の行動が文化になることを理解し、自己を見つめ実践への意欲をはぐくむことができるようにする。

本時の過程

学習活動・内容	発問	指導のねらい・内容・方法	種	時
<p>1 本時の学習の方向性を確認する。</p> <p>(1) 日本の文化でよさを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌舞伎、食文化、工芸品 ・治安が良いこと ・親切であること 礼儀正しさ <p>(2) めあてを設定する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">日本の文化をみつめよう。</div>	<p>【補助発問1】</p> <p>日本の文化のよさは何ですか。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">本時での学習の意欲を高めることができるようにする。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の意欲を高めることができるように、補助発問1を行い、めあてを設定する。 	一斉	10
<p>2 資料を通して我が国の伝統と文化の道徳的価値について考える。</p> <p>(1) モースが感動したことを考える。</p> <p>また、その行動につながる価値について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人力車を引く人が頼まれたわけではないのに、大八車を押すのを手伝ったこと（助け合う心） ・「ありがとう」と言葉とちゃんと伝えていること（感謝する心） ・クリーニングの後に、小銭やチケットが戻ってきたこと（正直な心） ・畳の上に置いておいた現金と懐中時計が出かけたときのままの状態で置かれていたこと（人のものを盗まない心 誠実な心） <p>【あたり前の気遣いの心】</p> <p>(2) 日本の文化が消滅しているかどうかについて考える。</p> <p>【消滅している】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・扉を開けっ放しは今の時代できないから、相手を信じる心は消えかかっていると思う。 ・金庫があるように人のものを盗まない心は消えかかっているのかもしれない。 <p>【消滅していない】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・困っていたら助ける人が多いと思うから助け合う心は今もあると思う。 ・感謝の気持ちは相手へ伝えることができているので、感謝する心は消滅していないと思う。 <p>【文化とは】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時代によって変化するけど、受け継がれてきた精神は変化することなく大切にされ、その思いが人々の行動に現れてものが文化である。 	<p>【発問2】</p> <p>モースは、日本人のどのような行動に感動したのだろうか。</p> <p>【発問3】</p> <p>(中心発問)</p> <p>本当に消滅していると思いますか。</p> <p>【補助発問4】</p> <p>文化とは何ですか。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">我が国の優れた無形の伝統や文化にはあたり前の気遣いの精神があることに気づき、受け継がれた精神を大切にしたい人々の行動が文化になることを理解することができるようにする。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の優れた無形の伝統や文化にはあたり前の気遣いの精神があることに気づくことができるように、発問2を行う。 ・受け継がれた精神を大切にしたい人々の行動が文化になることを理解することができるように、発問3と補助発問4を行い、それぞれの考えを交流する場を設定する。 	個 / 小集団 / 学級集団	30
<p>3 本時の学習で学んだことから、これからの自分のあり方をまとめる。</p> <p>(1) 本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでは日本の文化のよさを意識していなかったけど、授業を通して、今の私たちも確かに受け継いでいる精神があることに気づくことができました。私も素敵な文化を創っていきたい。 	<p>【発問4】</p> <p>授業を通して、自分たちの日常の学校生活にどのように生かしていきますか。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">自己を見つめ、実践への意欲をはぐくむことができるようにする。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・自己を見つめ、実践への意欲をもつことができるようにするために、発問5を行い、本時の学習を振り返る場を設定する。 	個 / 学級集団	10

本活動にかかわる価値内容について

本活動は、これまで受け継いできた伝統や文化に対する関心を深め、社会を構成する一員として、よりよい社会の実現に向けて主体的に関わっていこうとする意欲を高め、これからの学校生活や人生にいかすことができるようにすることをねらいとする。そこで、本活動に関わる道徳科の内容項目に関して、C-（17）我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度、C-（10）遵法精神、公德心、A-（1）自主、自律、自由と責任を設定する。また、学級活動の内容としては、学級活動の（3）-イ、社会参画意識の醸成や勤労観・職業観の形成、（1）-ア、学級や学校における生活上の諸問題の解決を設定する。

第一次では、C-（17）を設定し、これまで受け継いできた伝統と文化に対する関心を深めることができるようにする。第二次では、まず、学級活動（3）-イを設定し、社会の中でもあたり前の気遣いが行動で現れているところを考える活動を通して、社会の中でも気遣いが行動に現れている一方で、気遣いが現れていないこともあることを理解できるようにする。次に、C-（10）を設定し、法やきまりの意義を考えることができるように、考え、話し合う場を設定する。さらに、学級活動（1）-アを設定し、よりよい学校にするために、一人ひとりが主体的に課題を見出すことができるように、考え、話し合う場を設定する。また、学校を構成する一人として、気遣いが行動で現すことができるように、試行実践を実施し、振り返る場を設定する。第三次では、A-（1）を設定し、自ら考え、判断して、実行することが、自らの責任によって行動する生き方を送ることにつながることを理解することができるようにする。

本時内容項目の分析

内容項目 C-17 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度

優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献するとともに、日本人としての自覚をもって国を愛し、国家及び社会の形成者として、その発展に努めること。

「優れた」とは、よい点が多く、物事の程度が他と比べてよいということである。「伝統」とは、先人の残した有形無形の文化遺産である。「伝統の継承」とは、我が国の長い歴史を通じて先人から培われてきた、有形無形の文化遺産などを大切に、それらを次世代に引き継いでいくことである。「文化」とは、人々の行動が習慣として現れたものである。「新しい文化の創造」とは、これまでに培われた伝統や文化を踏まえ、さまざまな文化を取り入れながら、人々の行動がよりよいものへと変化し、その変化した文化を生み出すことである。「貢献」とは、ある物事や社会のために力を尽くすことである。つまり、優れた伝統とは何かと見だし、その伝統を生み出した精神を理解し、継承していこうとする姿勢から新しい文化の創造につながり、その創造することに貢献していきたいという意欲が必要になると考える。

「日本人としての自覚」とは、先人たちが培ってきた優れた伝統を生み出した精神に誇りを感じることである。「国家及び社会の形成者」とは、国家や社会をよりよい方向へ創り上げようとする人のことである。ここでいう「国」や「国家」とは優れた伝統を生み出してきた国民や日本の文化、風土などを含めたものを国としている。つまり、「日本人としての自覚をもって国を愛し、国家及び社会の形成者」とは、一人ひとりが優れた伝統に誇りを持ち、この伝統を生み出した国を愛することで、これからもよりよい国家や社会を創り上げるようとする実践意欲が必要になると考える。

以上のことから、我が国の伝統と文化の尊重し、国を愛する態度を高めるためには、我が国の優れた伝統を子ども自身が見だし、その伝統を生み出した精神を理解することで、さらによりよい文化を創造に貢献したいという意欲をもたせ、日本人として誇りもちながら、一人ひとりがよりよい国家や社会を創り上げていこうとする実践意欲を高める必要があると考える。

本時のねらいと手だて、子どもの実態

我が国の優れた無形の伝統や文化にはあたり前の気遣いの精神があることに気づき、その思いを大切にしながら日々の行動で示すことが文化になることを理解し、自己を見つめ、実践への意欲をはぐくむことができるようにすることをねらいとする。そのために、次のような援助を行う。

- ・学習の意欲を高めるため、補助発問1を行い、めあてを設定する。
- ・我が国の優れた無形の伝統や文化にはあたり前の気遣いの精神があることに気づくことができるように、発問2を行う。
- ・受け継がれた精神を大切に人々の行動が文化になることを理解することができるように、発問3と補助発問4を行い、それぞれの考えを交流する場を設定する。
- ・自己を見つめ、実践への意欲をはぐくむことができるようにするために、発問5を行い、本時の学習を振り返る場を設定する。

1 資料名 「ワンス・アポン・ア・タイム・イン・ジャパン」(出典:「中学道徳3 あすを生きる」 日本文教出版)

2 内容項目 C-17 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度

3 資料および価値の分析

本資料は、アメリカの動学者であるエドワード・シルベスター・モースが日本を訪れた際、日本の人々が思いやりにあふれ正直であるという日本人にとっては「あたり前」の姿に感銘をうけたが、その後、素晴らしい「あたり前の気遣い」が失われようとしていることを危惧し、当時の素晴らしい日本の人々の生き様をメモやスケッチにまとめ、出版した内容である。

モースが人力車に乗っているとき、坂を登る大八車を押す男たちの姿を見て、人力車の引き手がモースに断ってから、大八車を押すことを手伝うといった、困っている人をあたり前のように助ける姿、クリーニングに出した洋服のポケットに入っていた小銭や切符が戻ってきたことや旅館をしばらく留守にしている間に現金と懐中時計を預けた際、お盆の上に載せただけなのに、一週間後に出かけたままの状態に現金と懐中時計が置かれていることに、日本の人々の思いやりあふれる姿や正直な生き方が描かれている。しかし、モースがアメリカに戻りしばらくして、友人のビッグローからこの素晴らしい姿が消滅しよとしていることを知り、当時の日本の人々の姿をメモやスケッチにまとめ、出版したのである。

このことを通して、子どもが我が国の優れた無形の伝統や文化にはあたり前の気遣いの精神があることに気づき、その思いを大切にしながら日々の行動で示すことが文化になることを理解することができるので、これからよりよい文化を創造し、社会を構成する一員として社会の中で理想の姿とはどのような姿なのかと問い続けることができる資料である。

4 本時のねらい

我が国の優れた無形の伝統や文化にはあたり前の気遣いの精神があることに気づき、受け継がれた精神を大切にしたい人々の行動が文化になることを理解し、自己を見つめ実践への意欲をはぐくむことができるようにする。

5 展開構想

